

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 2 部門第 4 区分

【発行日】平成27年11月19日 (2015.11.19)

【公表番号】特表2015-502269(P2015-502269A)

【公表日】平成27年1月22日 (2015.1.22)

【年通号数】公開・登録公報2015-005

【出願番号】特願2014-536241(P2014-536241)

【国際特許分類】

B 2 9 C 39/10 (2006.01)

C 0 8 G 18/00 (2006.01)

F 1 6 L 11/12 (2006.01)

B 2 9 K 75/00 (2006.01)

B 2 9 K 105/04 (2006.01)

B 2 9 L 23/00 (2006.01)

【F I】

B 2 9 C 39/10

C 0 8 G 18/00 F

F 1 6 L 11/12 Z

B 2 9 K 75:00

B 2 9 K 105:04

B 2 9 L 23:00

【手続補正書】

【提出日】平成27年9月30日 (2015.9.30)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

絶縁パイプの製造方法であって、

(A) 内管と外管（内管が外管の中に配置され、内管と外管の間に末端 E 1 と E 2 を有する環状の間隙が形成されている）を与える工程と、

(B) 少なくとも一種のイソシアネート成分（a）と少なくとも一種のポリオール混合物（b）とを含むポリウレタン系を末端 E 1 で該環状間隙に投入する工程と、

(C) 該ポリウレタン系を発泡させ硬化させる工程と、

を含み、この環状間隙が末端 E 2 にあるキャップにより封鎖され、このキャップが可変径の開口部をもち、これらの開口部の大きさが、工程（B）での投入の間に、キャップ中に設けられた回転板により連続的に変化させられる方法。

【請求項 2】

少なくとも一種のポリオール混合物（b）が、ポリオール（b 1）と、必要なら化学発泡剤（b 2）、物理発泡剤（b 3）、架橋剤（b 4）、鎖延長剤（b 5）及び／又は必要なら添加物（b 6）を含む請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

末端 E 1 も可変径開口部を有するキャップにより封鎖されている請求項 1 または 2 記載の方法。

【請求項 4】

末端 E 1 のキャップの開口部が工程（B）での投入中に封鎖される請求項 3 に記載の方

法。

【請求項 5】

屈曲スパイラルシーム管が外管として使用される請求項 1～4 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 6】

熱可塑性ポリマー系のパイプが外管として使用される請求項 1～5 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 7】

回分式に行われる請求項 1～6 のいずれか一項に記載の方法。

【請求項 8】

可変径開口部をもつキャップを、

(A) 内管と外管（内管が外管の中に配置され、内管と外管の間に末端 E 1 と E 2 を有する環状の間隙が形成されている）を与える工程と、

(B) 少なくとも一種のイソシアネート成分（a）と少なくとも一種のポリオール混合物（b）とを含むポリウレタン系を末端 E 1 で該環状間隙に投入する工程と、

(C) 該ポリウレタン系を発泡させ硬化させる工程と、
を含む方法により絶縁パイプを製造するために使用する方法であって、

キャップ中のこれら開口部の大きさが、工程（B）の投入中に連続的に変化させられることを特徴とする方法。

【請求項 9】

請求項 1～7 のいずれか一項に記載の方法で製造可能な絶縁パイプ。